



▲何を待つのか？パール片手に虚ろな目をして…
(1973年春、外苑合宿)



▲狂喜（気？）の砂捨式
(1973年春、外苑合宿)

全体合宿

▶またまた琵琶湖の砂が比良に登った！
(1976年秋、比良全体合宿)



▲服部緑地はまだ遠い。
阪急千里山駅にて
(1976年春、外苑合宿)





▲涼しい谷で、ちょっと一休み (1975年秋、北山全体合宿)



▲連日の雨に意気消沈



(1976年春、台高山脈合宿)



▲ザンスカール目指して頑張らねば…
(1976年初春、六甲ボッカ)

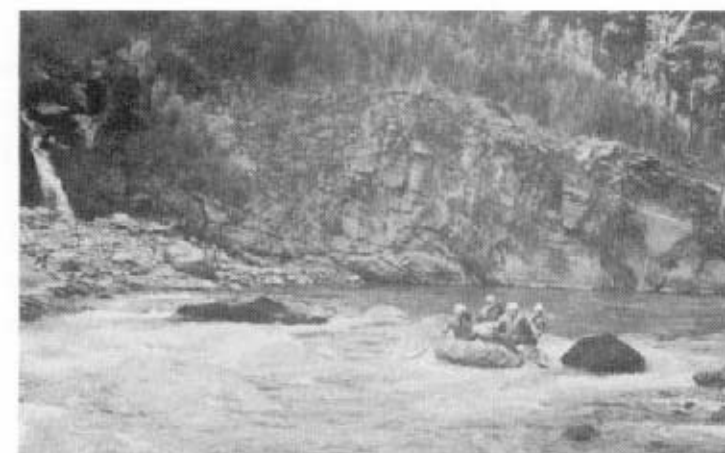


▲慎重にボートを流す (1974年春、吉野川合宿)

山へ

川へ

洞窟へ



▲真冬に川を下るのも、趣きのあるものです。
(1973年冬、五ヶ瀬川合宿)

▼ローソクの火をみつめながら孤独に耐える (1975年、白蓮洞合宿)



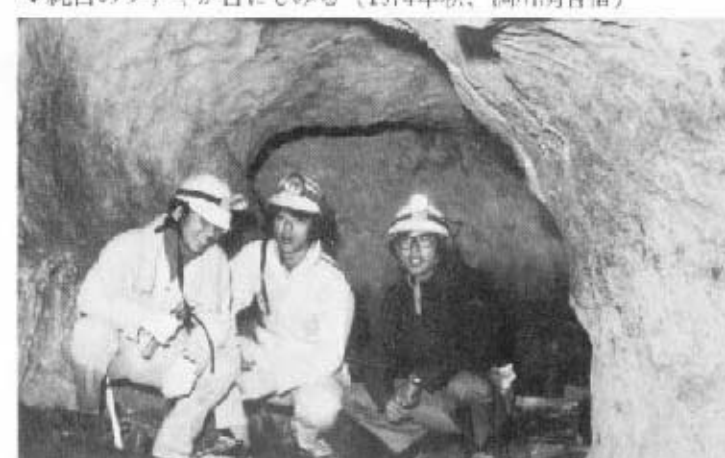
▼なぜか作業服が土色に染まる



(1974年春、熊石洞合宿)



▼純白のツナギが目にしみる (1974年秋、洞川洞合宿)





▲あと少しで完成だ（1973年夏、琵琶湖筏漂流合宿）



▲初秋というのに何という寒さ…
（1975年秋、白山合宿）



▲天気は快晴、素晴らしい山岳風景に大満足
（1976年秋、甲斐駒ヶ岳合宿）

